

新社会

発行所：新社会党
〒101-0051 東京都千代田区神保町2-10 三辰工業ビル3F
TEL 03 (6380) 9960 FAX 03 (6380) 9963
振替 00140-0-149727 1ヵ月600円 郵送料 1ヵ月164円

新社会千葉

2018年6月 189号

発行：新社会党千葉県本部

千葉市中央区新千葉2-1-1 新千葉ビル401
TEL 043-244-6865 FAX 043-244-6864
E-mail: sinya@lily.ocn.ne.jp
HP URL: http://sinya.webcrow.jp/



憲法集会のあと、デモ行進で「改憲反対」を訴えた

9条改憲で憲法は死文化 安倍政権の暴走許さない 「千葉県憲法集会」開く

5月6日、千葉市内で「憲法を活かす会・千葉県協議会（以下「県活かす会」）主催の「千葉県憲法集会」が開かれました。

初めに主催者を代表して廣瀬理夫共同世話人が「安倍政権の暴走は止まらず、改憲の道突き進んでいる。今、国内外で大きな変動の

時期を迎えている。このような平和への動きは望ましいこと。この動きを阻止したり妨害したりすることは許せない。平和への動きを大きくすることで、日本における安倍改憲の意図を打ち砕こう」と、安倍改憲阻止に向けての決意を述べました。

来賓として、新社会

安倍の9条改憲と自衛隊

半田滋さんの講演要旨

日本政府はこれまで「自衛隊は、我が国を防衛するための最小限度の実力組織であるから、憲法に違反しない。だから合憲」と説明してきた。

しかし、安倍首相は5月3日憲法記念日の読売新聞インタビュー記事で、「憲法9条第1項、2項を変えずに自衛隊を書き込む一案を発表。この加憲案は、国会はもちろん自民党でさえ議論された案ではなく、安倍首相一人の考案だ。しかし、「安倍一強」なので、安倍首相の私案が自民党案になる可能性は大いにある。現に自民党検討項目の有力なひとつに入っている。

また、安倍首相はこれまで現行憲法を否定する発言をしてきた。憲法を変えることに意義があると考えている可能性もある。なかで

党千葉県本部の石井俊雄委員長、国鉄闘争の教訓と経験を活かす千葉県共闘会議の宮内渉議長があいさつ。

そのあと、「安倍9条改憲と自衛隊、そして国民の生活は？」と題して、半田滋さん（現東京新聞論説兼編集委員、獨協大学非常勤講師）が約1時間半にわたって講演（要旨別掲）しました。

講演のあとに集会宣言採択、上野建一運営委員長が「引き続き3000万署名を取り組み安倍政権を退陣に追い込もう」と提起して集会を終わりました。その後のデモ行進で市民に「安倍改憲阻止」を訴えました。



講師の半田滋さん

も「1丁目1番地」の9条改定には並々ならぬ執念を見せている。（中略）

それでは、自衛隊を憲法に書き込む意味はなにか。憲法解釈を変えた閣議決定及び安

全保障関連法で踏み切った集団的自衛権の行使をフルスペックとすることか。そうすると、憲法9条2項は死文化し、憲法そのものの役割が薄れる。そこが安倍政権の究極の目標なのか。すなわち、憲法を実質的に空文化して、「時の政権」の思い通りに日本を変える。米国の戦争にためらいなく参加することになる。

モリ・カケは政権の私物化

森友問題、加計問題でみられるとおり、安倍政権の私物化であり、戦前のような国家主義的国家への復帰、

「日本を取り戻す」「美しい国へ」の現実化だ。日本の平和や国民の幸福を目指すのではなく、自分の空想する国家、そして国家のための生命をささげる国民による独裁国家への回帰を目指すのか？

予想される具体的日程としては、4月以降、国会で改憲案の議論を開始、賛成多数による改憲発議。発議から起算して60日以降180日以内に国民投票。有力なのは、19年7月の参院選挙との同日選挙。成立なら2020年に改正憲法が施行。不成立なら安倍内閣は退陣ということになるだろう。

「安倍政権退陣」求める
有明防災公園の「憲法集会」に6万人

りんかい線の国際展示場駅を出るとすでに機動隊が道路の両脇を固めていて、黙っていても会場に行き着くような状態でした。会場の特設ステージでは、開会前のコンサートで会場を盛り上げていました。

午後1時から始まった集会は、高田健さん



の主催者あいさつその後4人のトークがあり、一橋大学の山内名誉教授から「戦後、平和を享受できたのは9条のおかげ。自衛隊を明記して戦争の準備をするより、孫の代まで生かすべきだ」と話されました。その後、各政党から連帯の挨拶があり、トークIIでは沖縄問題、フクシマのその後の問題、高校生平和大使など8名の方々の訴えがありました。

事務局から「安倍改憲NO！3000万署名」の経過報告があり、「現在1350万筆を集約した。安倍政権を打倒するまでさらに取り組みを続けよう」と呼びかけがされ、15時40分に集会は終わりました。

その後、二つのコー

伊調選手 務省元事務次官による女性記者に対するセクハラ。権力者がその地位を利用してあからさまに相手を貶め、差別を繰り返す。被害者がやむに止まらず加害者を訴えれば証拠を隠さず、突きつけられ、「出頭せよ」と恫喝し、大臣が「セクハラ罪」という罪状はないですとねと放言。日本には責任感・倫理観という言葉や概念はあるのか▼法的に政治的中立性を科せられている幹部自衛官が国会議員を罵倒し、平気でいられる社会は危うい。沖縄の普天間第二小学校で米軍機が窓枠を落下させた事件で「最大限学校の上空を飛ばない」と約束したはずがすぐに破られ、危険が増しているのに政府はアメリカに抗議なし。無法状態が日本を覆っている▼働き方改革と称して過労死被害者家族が猛然と抗議するのに数の力で強行採決。人間性無視、腐敗しきったアベ内閣退場実現に一刻も急ごう。

沖縄県民だけの問題じゃない

辺野古の座り込み行動に参加して

習志野総支部 宮川 幸男



機動隊の強制排除に対してスクラムを組んで抵抗する県民たち

沖縄県辺野古、美しい海の聖地が今、その姿を変えられようとしている。新基地建設の護岸工事と称して、キャンピングシュワフゲートから連日、数百台ものダンブカーが入り、砕石が海に投下されているのだ。この光景を目の当たりにして、沖縄県民は心が折れそうになる。

しかし沖縄県民は国、このような行為を、ただ指をくわえて見ていたわけではない。辺野古の浜での座り込み行動のために人が集まり、人々が集まればゲートは開かない。人々は何度、倒され引きずられ逮捕されても、再び座り込むことを続けて、20年もの工事を遅らせてきたのだ。もし、この座り込み行動が無かったら、とくに海は埋め立て

られ新基地が完成していたかもしれない。

屈辱と無力感 安倍政権に憤り

こんな中、私も「連続6日間、500人集中行動で工事は止まる、奇跡の1週間をつくろう！」のキャッチフレーズに心を動かされて、辺野古キャンピングシュワフゲート前行動に参加することを決意した。

私が座り込みに参加したのは、4日目の4月26日からだった。午前8時前、大型ダンブカーによる砕石搬入を阻止するべく、キャンピングシュワフゲート前に座り込みを開始した。約350名によるシュプレヒコールを上げ続けたが、午前9時には200名以上の機動隊員に包囲されてしまった。強制排除に抵抗しようとして、我々は全員で腕を組み一丸となつて対抗したが、機動隊員は赤子の手をひねるように、いとも簡単に我々を臨時留置場（機動隊バスと塀の間の狭い場所）に放り込んでいった。そこには女性や高齢者への配慮など一かけらもない。

私は屈辱と無力感と安倍政権への憤りで、涙を抑えることができなかった。

全ての費用 日本の税金

普天間飛行場を返還してもらうため、その移設先を辺野古とすることに賛成の意見も少なくないとも言われるが、どうも基地がでさるのかを知らなからだと思ふ。辺野古問題の原点には、1995年の少女暴行事件があるが、当時の公文書によると「普天間飛行場を5分の1に縮小して辺野古に移す」と書いてあったそ

うだ。滑走路は長くて約1500メートル（現在約2600メートル）、建設期間は5〜7年、建設費用は5000億円以内というのが、日本政府の当初の方針だった。ところが、アメリカの最終報告では、「オスプレイ24機を配備、建設期間は少なくとも12年、建設費用1兆円、運用年数40年、耐用年数200年になるような基地をつくる」と書いてある。移設費、建設費、維持費、思いやり予算まで日本の税金で賄っている現在。米軍としてこんなにあがたい話はない。辺野古

「県団結まつり」で 共闘の仲間が交流

5月27日、習志野市内で「千葉県団結まつり」が開かれました。

第1部のオープニングで、主催者代表あいさつに立った宮内共闘会議議長は、今年の春に、前・堀川議長の後継として県高教組委員長と県共闘会議の議長に就任したことを報告したあと、アメフトや教員の部活顧問の問題を例に「権力者の、何

でもありの悪しき見本が、いろんな所に蔓延していることに危惧している」とあいさつ。続いて、各政党代表があいさつ。新社会党からは石井俊雄県本部長が「改憲反対署名は3000万筆達成に向け引き続き取り組み。これからの選挙は市民連合で戦い、安倍政権を倒そう」とあいさつしました。

俳句

四季へのいざない、公園や家路うながす青葉木菟

水明



青葉木菟（あおばすく）の鳴き声は樺などの大木のあるところではよく聞くことができる。「ほうほう」と二声ずつ含みのある声である。そんな青葉木菟が棲む公園。すぐ側には小学校があり放課後などは小学生にとり格好の遊び場になる。時を忘れて遊ぶ子供達。暮色に包まれる公園。と、まるで家路をうながすかのように青葉木菟の鳴き声が…。ほうほう。ほうほう…。

に軍事力を強化した基地がつくられ、自分たち日本人に莫大な財政負担がのしかかってくる事を知ったら、賛成なんてできない。今回の集會に参加して、沖縄の基地問題は沖縄県民だけの問題ではないことを再認識した。

石井県本部長



引き続き、争議団関係の闘争報告のあと、共闘会議や支援団体のブースなどで買ったままみや飲み物で懇親会に移りました。第2部の出し物では、3人編成のバンドとブラスバンドの演奏、学生の合唱が披露

本紙前号で「下流老人」の著者を藤田孝則さんと紹介しました。藤田孝典さんの誤りでした。訂正してお詫びいたします。



スマホ依存症



電車の中で化粧する女性も気になるが、目立つのがスマホなでなで。10人中5〜6人はこれに余念がない。目の前にお年寄りが立っていないのが気づく様子もない。幼児が話しかけても上の空のお母さん。たまに隣の人のスマホをのぞいて見るが大抵はゲームか動画、LINEのようなテキストによる会話だ。なんでも鏡の代わりになるらしい。

かく言う私も、スマホやインターネットには随分とお世話になっている。ほとんど依存症だ。読書アプリでは著作権の切れた小説が読み放題、これで片道90分の電車の中も退屈することはない。日曜日の午後一番に放送される囲碁の対局も、その日の夕方にはYouTubeで見ることもできる。もはやビデオもいらぬ。このYouTubeで広沢虎造の次郎長伝を見つけて視聴した。なんだあんな昔の浪花節。とんでもない、しゃがれた声に三味と合いの手の絶妙さ、まさに芸術だった。この文もクラウドで書いています。もはや高価なワードやエクセルがなくても用が足りる。

しかし、気をつけよう。先日ある会社から届いた手紙の冒頭に「時下何何の季節」云々とあった。おおい、コピペそのままじゃなにか会社の程が知れるよ。子育てはちゃんと向き合ってスキミングが大切というじゃないか。フェイスブックやツイッターは自分の考えと同じ方向ばかり求めて違った考えに目が向かなくなる傾向があるよ。クラウドは便利だがビッグデータとして収集されている可能性が大きい。

あの昭恵さんも、まさか将来問題になるとは思わぬものだから、籠池夫妻との親密な関係をインターネットにさらけ出してしまった。

【良】